

ESD 推進ネットワークの 2020 年以降の展開に向けて：意見交換用メモ

2019 年 2 月 7 日

ESD 活動支援センター

1. はじめに

「我が国における「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム」実施計画」（以下「ESD 国内実施計画」）に基づき、ESD 推進ネットワーク及び ESD 活動支援センターについては以下のように整備が進められてきた。

2016 年 4 月	ESD 活動支援センター（全国センター）開設
2017 年 7～9 月	全国 8 ブロックで ESD 活動支援センター（地方センター）開設
2017 年 11 月	地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録開始
2018 年 3 月末	地域 ESD 拠点として 27 団体が登録
2019 年 1 月末現在	地域 ESD 拠点として 67 団体が登録

2019 年をもって、グローバル・アクション・プログラム（GAP）の活動期間が終了することから、2020 年以降の ESD 推進方策について検討を行う必要がある。

2. 検討のタイムフレーム

(1) 国際的な検討

- ・ UNESCO を中心に GAP 後継枠組の検討が進められており、2018 年 9 月にはそれまでのコンサルテーション結果を踏まえた UNESCO による GAP 後継枠組の案が公開され、11 月中旬まで広く意見募集が行われた。この後継枠組提案では、GAP の枠組を維持しつつ、ESD を SDGs の達成のための人づくりを担うものと位置づけること等が提案されている。
- ・ 現在、提出された意見を踏まえた改訂作業中で、GAP 後継枠組案は、2019 年 4 月の UNESCO 執行委員会に提出予定である。
- ・ GAP 後継枠組案は、2019 年 4 月の UNESCO 執行委員会、同年 11 月の UNESCO 総会、同年中の国連総会で採択される予定である。

(2) 政府による最終年の評価

- ・ ESD に関する関係省庁連絡会議で決定された国内実施計画では、「4. 点検・見直し・評価」において以下に示されるように、2019 年に GAP の総括的なレビューを行う必要があると記載されている。そのレビューを受け、ESD 国内実施計画に基づき 2019 年度に「2020 年以降の ESD の更なる効果的推進につながるよう」最終年における評価を行うものとされている。
- ・ 可能であれば 2019 年度中に結論を得られるよう、GAP 最終年の評価を 2019 年春に開始するこ

とが想定される。

(2) 最終年における評価

GAPは2015年から2019年までの5年間を実施期間とする行動計画であり、各ステークホルダーの取組について2019年に総括的なレビューを行う必要がある。

2019年にはGAP自体がレビューされ、必要に応じて優先行動分野の変更もあり得るとされている。最終年における評価は、こうしたGAPの見直しの動きも踏まえながら、2020年以降のESDの更なる効果的な推進につながるよう実施するものとする。

なお、GAPの実施期間中においても、国内の環境、経済、社会の情勢の変化や、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」をはじめとする国際的潮流の動向等を注視し、必要に応じて本実施計画の見直しを検討するものとする。見直しの際には、パブリックコメントを実施することとする。

「ESD 国内実施計画」より引用

(3) ESD 活動支援センターにおける検討

- ・ ESD 推進ネットワーク及び ESD 活動支援センター（全国、地方）は、ESD 国内実施計画に基づき整備・推進されているものであるため、ESD 活動支援センターとしては、政府による最終年の評価及び 2020 年以降の ESD 推進に向けた検討に資するよう、必要な協力を行う方針である。

3. 本日議論いただきたい事項

- 2019 年度までの成果と残された主要な課題
- 2020 年度以降に ESD の観点から重点的に推進すべき活動
- SDGs と ESD との具体的な連携方策